

消費者庁入札等監視委員会 第8回会議 議事概要

開催日及び場所	平成29年12月8日(金) 共用443会議室
委員	井手 秀樹 (慶應義塾大学名誉教授) 河村 小百合 (株式会社日本総合研究所調査部上席主任研究員) 竹内 啓博 (公認会計士)
議事	<ul style="list-style-type: none"> ○インターネット等における健康食品等の虚偽・誇大広告の監視業務 ○平成29年度物価モニター調査 ○次期特定商取引法執行ネット構築請負業務 ○「エシカル・ラボ」の開催・運営等支援業務 ○消費者庁消費者行政新未来創造オフィスにおける平成29年度調達複写機(高速機)の賃貸借及び保守等業務 ○北東アジアにおける電子商取引に係る消費者保護の法制等に関する比較調査 ○嚙下シミュレーターを使用した気道閉塞シミュレーション及びコンピュータグラフィックスの制作業務 ○その他

○案件詳細	
【競争入札】 最低価格落札方式	<p>契約件名：インターネット等における健康食品等の虚偽・誇大広告の監視業務</p> <p>契約相手：株式会社オーエムシー</p> <p>契約金額：2,101,680円</p> <p>契約日：平成29年4月3日</p> <p>担当課：表示対策課</p> <p>説明内容：一般競争入札を実施し、複数者の応札があったものであり、低価格入札となったもの。</p>
【競争入札】 最低価格落札方式	<p>契約件名：平成29年度物価モニター調査</p> <p>契約相手：株式会社タイム・エージェント</p> <p>契約金額：35,880,000円</p> <p>契約日：平成29年4月3日</p> <p>担当課：消費者調査課</p> <p>説明内容：一般競争入札を実施し、複数者の応札があったもの。</p>
【競争入札】 最低価格落札方式	<p>契約件名：次期特定商取引法執行ネット構築請負業務</p> <p>契約相手：株式会社TSP</p>

	<p>契約金額：29,376,000円</p> <p>契約日：平成29年8月23日</p> <p>担当課：取引対策課</p> <p>説明内容：一般競争入札を実施し、複数者の応札があったものであり、低価格入札となったもの。</p>
<p>【競争入札】 最低価格落札方式</p>	<p>契約件名：「エシカル・ラボ」の開催・運営等支援業務</p> <p>契約相手：株式会社博展</p> <p>契約金額：5,616,000円</p> <p>契約日：平成29年9月29日</p> <p>担当課：消費者教育・地方協力課</p> <p>説明内容：一般競争入札を実施したが、1者応札となったもの。</p>
<p>【競争入札】 最低価格落札方式</p>	<p>契約件名：消費者庁消費者行政新未来創造オフィスにおける平成29年度調達複写機（高速機）の賃貸借及び保守等業務</p> <p>契約相手：コニカミノルタジャパン株式会社</p> <p>契約金額：148,435円</p> <p>契約日：平成29年6月29日</p> <p>担当課：総務課用度係</p> <p>説明内容：一般競争入札を実施し、複数者の応札があったものであり、低価格入札となったもの。</p>
<p>【競争入札】 総合評価落札方式</p>	<p>契約件名：北東アジアにおける電子商取引に係る消費者保護の法制等に関する比較調査</p> <p>契約相手：ワールドインテリジェンスパートナーズジャパン株式会社</p> <p>契約金額：5,076,000円</p> <p>契約日：平成29年8月8日</p> <p>担当課：消費者政策課</p> <p>説明内容：技術点と価格点の合計が最も高かった者と契約する総合評価落札方式を採用したもの。</p>
<p>【随意契約】 公募</p>	<p>契約件名：嚥下シミュレーターを使用した気道閉塞シミュレーション及びコンピュータグラフィックスの制作業務</p> <p>契約相手：武蔵野赤十字病院、株式会社明治</p> <p>契約金額：15,900,494円</p> <p>契約日：平成29年4月11日</p> <p>担当課：消費者安全課事故調査室</p> <p>説明内容：公募を実施し、妥当性が確認できている唯一の解析装置である4次元シミュレーターを応用し、シミュレーション及びコン</p>

	ピュータグラフィックスを製作可能な同装置を開発した２者と随意契約を行ったもの。
委員からの意見・ 質問 それに対する回答 等	別紙のとおり

別紙

意見・質問	回答
1. インターネット等における健康食品等の虚偽・誇大広告の監視業務	
決定等級は？	全省庁統一資格であり、等級区分は4区分となっている。どの区分になるかは予定価格の範囲で異なる。
落札率が低いが、事業の履行状況は問題ないか。	この事業は毎年行っているものであり、一昨年度は今回の業者が落札している。今回は低入札であったためヒアリングを行い、業務の履行に問題ないと判断し契約を締結しており、実際に問題なく履行されていることを確認している。
参考見積額と入札額で乖離が生じている。	社内の自助努力で下げたと聞いている。
2. 平成29年度物価モニター調査	
落札業者はいつも決まっているのか。	決まってはいるが、以前より引き続いている事業のため同じ事業者になることが多い。
業者が変わっても連続性はあるのか。	モニターの募集は消費者庁で行っており、事業者が変わっても連続性は担保されている。
3. 次期特定商取引ネット構築請負業務	
参考見積を出していない事業者が予定価格より大幅に価格を下げて入札しているが、資格要件は満たしているのか。	適合証明書の提出を求め、官公庁等公共機関に対しての実績があることも確認しており、能力的にも問題ない。事業者にもヒアリングを行っており、問題なく履行されている。
今まで使用している特定商取引用ネットの次期システムということだが、継続性は必要ないのか。	ほぼ最初から構築をし直すため、特に継続性は必要ない。
構築と保守は別契約ということだが、構築をした事業者の一者応札ということにはならないか。	そうならないよう出来るだけオープンソースを使用することになっている。また、保守にも経験・実績が必要なので、一者応札にはならないと思っている。
ハードの面ではどうなのか。	どのようなハードを使用して行うか、情報システム担当にも相談の上、要件定義書で定めている。
4. 「エンカル・ラボ」の開催・運営等支援業務	
何回目の開催か。事業者が毎回違うのか。	3回目である。事業者は毎回違う。

3回目なのに、何故こんな短期間での応札となったのか。	スケジュール管理の甘さから、今回は短期間での入札となってしまった。今後は気を付けたい。
参考見積額より入札金額の方が高い理由は何故か。	参考見積の時点では準備期間があれば余裕があったが、実際の入札時は短期間になったため、金額が高くなったと思われる。
5. 消費者庁消費者行政新未来創造オフィスにおける平成29年度調達複写機（高速機）の賃貸借及び保守等業務	
これはどのような事業か。	7月に徳島に消費者行政新未来創造オフィスを開設するために複写機を調達したものの。契約金額は月額単価で、賃貸借については、3年間の国庫債務負担行為を取っている。
6. 北東アジアにおける電子商取引に係る消費者保護の法制等に関する比較調査	
毎年同じ調査をしているのか。	同様の調査はあるが、その年の調査すべき内容等を精査し、調査をしている。
同じような調査であれば、随意契約には出来ないのか。	基本的には競争入札が大原則となっている。随意契約にするには、その事業者しか特許を持っていない等、その事業者でなければ出来ない理由がなければできない。
不合格となった業者とは技術点に大きな差があるが、成果物の質の面で、消費者庁の業務に影響はないのか。入札の方式に工夫の余地はないのか。	技術点が低いため、落札後の打ち合わせ等において、現時点では詳細を協議しながら調査を進めている。
7. 嚙下シミュレーターを使用した気道閉塞シミュレーション及びコンピュータグラフィックスの制作業務	
何故公募をしたのか。	この事業者しかいないので随意契約をしたかったが、本当にそこしか出来ないのかという確認を取るために公募を行ったもの。
このシミュレーターがないと事故調査が出来ないのか。	調査自体にではなく、気道閉塞のメカニズムの解明のために使用するものであり、シミュレーション及びコンピュータグラフィックスを製作していただくものである。
1回限りの調査なのか。	1回限りであり、調査は終了している。今後事故が起こった場合には新たに調査をする形になる。
○予定価格について	

<p>予定価格については、調達の種類、競争入札の種類によって、予定価格の取り方を変えるべきではないか。</p>	<p>低入札となったもの、不落随契となったもの等については、前年度の予定価格の積算方法や落札率との比較をおこなうなど、今後の検討課題としたい。</p>
---	---